

# 観世九臯会

かんぜきゅうこうかい



## 三月 定例会

Noh Kyogen  
KANZE KYUKOHKAI  
13 March.2022(sun)  
Yarai Noh Stage

令和4年3月13日(日)  
於 矢来能楽堂

【第1部】12:30開演(12:00開場)

14:00終演予定

—客席入れ替え—

【第2部】15:30開演(15:00開場)

17:50終演予定

※第2部のみ前年と開演時間が変更となります。ご注意ください。

主催：公益社団法人 観世九臯会



文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術創造活動活性化事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会

### 感染予防にご協力をお願いいたします。

#### ◆ ご来場の際のお願い

- ・体調不良の方は、当日でもご来場をお控え下さい。
- ・ご入場の際は必ずマスクをご着用ください。
- ・入口にて手指のアルコール消毒と検温にご協力下さい。
- ・37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。  
(上記にご協力いただけない方には、ご入場をお断りいたします。)
- ・上記にて入場不可となった方へは、ご事情を伺った上で、払い戻しをさせていただきます。チケットを半券ともにご保管の上、ご連絡下さい。

#### ◆ 会場内でのお願いなど

- ・喫茶室は閉室しております。場内でのお食事はご遠慮下さい。
- ・場内のウォーターサーバーは、使用停止とさせていただきます。
- ・水分補給のためのお飲み物は、ご持参ください。
- ・換気のため、お席によっては空調が強く当たるところがございます。  
ご自身にて上掛け等をご持参ください。
- ・出演者へのご面会、お差し入れは当面の間、ご遠慮ください。

・矢来能楽堂のお手洗いは数が大変に限られております。なるべくご来場前にお済ませ頂き、ご利用の際は間隔をあけてお並びください。

#### ◆ 上演にあたってなど

- ・上演中も、マスクの着用をお願いいたします。
- ・舞台上も出演者の感染予防対策を講じた形式での上演とさせていただきます。
- ・公演の前後および休憩中には外気を入れ、会場内の換気をいたします。
- ・場内換気のため、上演中もロビーとの扉は開けさせていただきます。
- ・1部、2部とも続けてご覧になる方も、一旦退館をお願いいたします。
- ・万一、来館者ならびに出演者・スタッフに感染が疑われる者が後日、発生した際は、所轄の保健所へご来場者様情報を提出させていただく場合がございます。

このほか、矢来能楽堂ホームページにて、「矢来能楽堂における感染予防措置」をご確認の上ご来場ください。

皆様の健康と安全を第一に考えて実施したしております。

ご不便をおかけすることもございますが、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

矢来能楽堂・公益社団法人 観世九臯会

#### 全指定席(各部)

正面席 5,500円 / 脇正面・中正面席 4,400円

学生券(脇正面・中正面) 2,200円 ※学生券は26歳未満(要学生証) 未就学児入場不可

1部2部通しセット(脇正面・中正面のみ) 7,800円

矢来能楽堂のみ取扱い

#### 〔注意事項〕

- ・記載の演目・演者等はやむを得ない都合により変更になる場合がございます。
- ・許可のない録音・撮影は一切禁止です。
- ・携帯電話は電源からお切りください。
- ・演能やほかのお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。  
場合によっては退場していただく場合がございます。

新型コロナウイルスの感染状況や行政機関などによる指示、各種ガイドラインの変更・更新等に伴い、内容に変更がでる場合がございます。最新情報は矢来能楽堂ホームページや公式ツイッターなどで随時お知らせいたしますので、ご来館時などには必ずご確認くださいませようお願いいたします。

能・狂言  
観世九臯会  
矢来能楽堂

162-0805 東京都新宿区矢来町60

#### 【お申込み・お問合せ】

矢来能楽堂・観世九臯会

電話：03-3268-7311 FAX：03-5261-2980

メール：yarai@eos.ocn.ne.jp

http://yarai-nohgakudo.com/



カンフェティチケットセンター

(WEB予約後セブンイレブンで発券)

電話：0120-240-540

表紙写真「中將」撮影：青木信二

### 能楽書林

権藤芳一著  
『能楽手帖』



簡潔な解説で携帯にも便利な能楽鑑賞事典。見聞き一曲で、上演頻度の高い一三〇曲を厳選して収録。曲ごとに、あらすじ・みどころ・作者・素材・各流の小書きなどが書かれ、観能の手引に最適な書。巻末に用語解説も付す。

新書判・三〇二頁  
本体一四〇〇円十税

#### 柳沢新治著

『横からみた能・狂言』

長年、NHKの能楽放送に携わった著者が著した、現場ならではの「放送回らばなし」をはじめ、能の歴史をひもとく「能の歴史」、心に残る人々との思い出の随想「出会いと別れ」、能をモチーフとした推理小説「能舞台の目撃者」など、バラエティに富んだ内容を一冊にまとめた好読物。

四六判・二二三頁  
本体二〇〇〇円十税

#### ご注文・お問合せ

能楽書林 九段下駅徒歩すぐ  
☎ 03-32664108 46  
FAX 03-32664108 47  
メール shoin@mercury.plala.or.jp

# 観世九阜会 三月定例会

令和四年三月十三日(日)

於 矢来能楽堂

## 【第一部】 十二時三十分開演 (正午開場)

番組

狂言 **しびり** シテ 山本泰太郎 アド 山本凜太郎  
Shibiri 後見 若松 隆

(十二時四十分)

シテ 遠藤 和久  
ワキツレ 矢野 昌平  
ワキ 福王 和幸 大鼓 佃良太郎  
ワキツレ 村瀬 提 小鼓 森澤 勇司 笛 熊本俊太郎  
間山本 則重

後見 長山 耕三 金子仁智翔 鈴木啓吾  
永島 忠修 奥川 恒成 中森貫太  
地謡 河井美紀 観世喜正  
坂真太郎 中所宜夫

《あらすじ》

## 狂言 しびり

急な来客をもてなすため、主人は太郎冠者に肴を買ってくるようお願いすが、お使いに行きたくない冠者は足が痺れて動けないと言う。仮病に違いないと考えた主人は、冠者がお使いに行きたくなるよう一計を案じる。

能 **忠度** ただ のり

千載集の選者・藤原俊成の家来であった旅僧が須磨の浦で老翁と出会う。老翁は平忠度が詠んだという和歌を引き、この桜の下に忠度が眠っていると語る。僧が忠度を申うと老翁は喜んだ様子で桜の陰に消えていった。所の者に忠度について聞いた僧の夢の中に、忠

## 【第二部】 午後三時三十分開演 (午後三時開場)

番組

仕舞 **老松** 奥川恒治  
**羽衣** 観世喜之  
**百萬** 鈴木啓吾  
昭君 長山耕三  
クセ

(午後四時)

局 石井寛人  
内侍 永島 充  
法皇 駒瀬直也  
シテ 弘田裕一  
能 **大原御幸** ワキ 館田善博 大鼓 國川 純  
Charagokou 大臣 則久英志 小鼓 幸 正昭 笛 藤田朝太郎  
奥昇 御厨誠吾  
奥昇 梅村昌功  
間山本 則孝

後見 坂真太郎 新井麻衣子 佐久間二郎  
観世喜之 中森健之介 観世喜正  
奥川恒治 地謡 桑田貴志 遠藤喜久  
小島英明 鈴木啓吾

(終演予定 午後二時)

附祝言

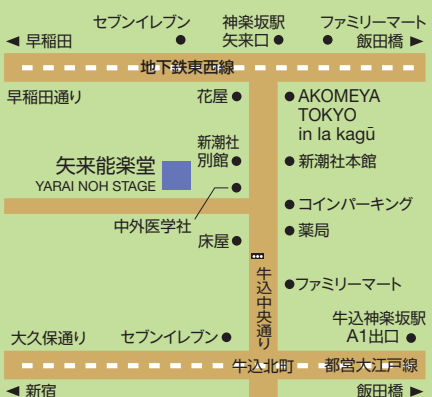
度が在りし日の姿で現れる。忠度は自分の和歌が千載集で詠み人知らずとされたことを嘆き、さらに一の谷で討たれた有様を見せる。世阿弥作の修羅能の傑作とされる。

能 **大原御幸** おはらごこう

平家滅亡の折、平清盛の娘で高倉天皇の中宮である建礼門院(女院)は、息子の安徳天皇と共に入水した。しかし女院は命を救われ、大原の寂光院に出家して暮らしている。後白河法皇が女院をお訪ねになると、女院は自身が経験した六道の有様、まだ幼い安徳天皇が入水したときの有様を物語る。「平家物語」灌頂巻を題材にした能。初夏の大原の物寂しく静かな空気の中で語られる、平家の壮絶な最期。詞章、謡のすぐれた大作。

(終演予定 午後五時五十分)

休憩十分



地下鉄東西線神楽坂駅 矢来口より徒歩2分  
都営大江戸線牛込神楽坂 A1出口より徒歩5分  
駐車場はございません。近隣のコイン駐車場をご利用ください。